

東芝が4千人を早期退職で募ると、10年で従業員20万人が10万人に、彼等はどこへ? 子供の頃、初めての「電気」炊飯器は**Toshiba**だった  
5月8日のゼミは、斎藤幸平『マルクス解体』第2章「マルクスとエンゲルスと環境思想」を小野さんの報告で行いました。今や環境分野は資本論の理論的遺産として継承していく主戦場となっている。マルクスはアソシエートした人たちが人間と自然との物質代謝を合理的に制御することを要求したのに対し、エンゲルスは都市と農村の対立を問題にしている、そこでは物質代謝を使わなかった。このような事から、マルクスは社会的物質代謝と自然的物質代謝の連環を論じるが、エンゲルスは「自然の復讐」以上の理論的枠組みを見出せなかった。資本論の著者であるマルクスと編集者であるエンゲルスとの間には理解のずれが生じていた。第3巻5章に対して、エンゲルスはこの章を銀行・信用と考えたが、しかしそのテーマは利子生み資本であった。エンゲルスは自然法則の理解と実践的摘要で人間は自由に自然と関わり、自由の国への飛躍としたが、マルクスは個人の能力の全面発達を論じた。討論では、日本と異なり、西欧のマルクス主義は公害問題に取り組みず、「みどりの党」がそれを担っている。自然の物質代謝に対して、社会的物質代謝が問題となっている。農業でいえば、焼き畑には自然が埋め込まれている。共同体の問題では、例えばメソポタミアでは輪作が行われていた。マルクスとエンゲルスの違い:エンゲルスは自然が支配する物質代謝を人間の工夫で物質代謝が広がるが、マルクスは社会的物質代謝から自然的物質代謝をより良く利用する。ここで自然の復讐・自然の主体性を問題として、マルクスとエンゲルスに共通するのは人間の労働を前提とすることである。  
会場参加は小野さん・川口さん・松村さん・山口さん・高田、オンライン参加は斎藤さん、竹内さん・後藤さん・井貝さん・田中與念子さん・初参加の原田佳子さんと吉田満さん、合計12名の参加でした。

\* 5月22日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 857 6284 7730 パスコード: 293385

\* 今月の第4週ゼミ、5月22日で『帝国主義論』が終わる予定で、次のテキストを決めます。テキスト候補に、佐々木隆治『資本論第3巻』、隅田聡一郎『国家に抗するマルクス「政治の他律性」について』が上がっています。それ以外に候補本があれば、推薦願います。

\*\*\*\*\* ゼミ日程 \*\*\*\*\*

5月22日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

レーニン『帝国主義論』10. 帝国主義の歴史的地位 報告中村さん

6月12日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

斎藤幸平『マルクス解体』第3章 ルカーチ・一元論批判 報告竹内さん

6月26日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

テキスト未定

報告者未定

その後 7/10, 7/24 [アイクルの部屋]